

研究課題番号	1-1901
研究課題名	世界環境憲章と国際・国内の環境規範のあり方に関する研究
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	早稲田大学
研究代表者名	大塚 直

1. 委員の指摘及び提言概要

環境行政に関する法律の専門家が一同に介して研究される場が設けられたことは環境行政の立場からも意義があったと考えられ、環境権やPPP原則など幅広い論点に明確な示唆を与える研究として集約されている。また、国際法の現状レビューを通じた日本の対応についての提案ができた点が評価できる。成果は行政の対応にも生かされつつあるが、更に環境省との意見交換と政策指針の策定がアウトカムとして求められる。また、環境研究の内容はカバーすべき分野が広いので、研究成果の内容については、わかりやすい説明をお願いしたい。サブテーマ間の関係や国内と国際との相互関係など、成果を統合的に取りまとめ、より多くの方の理解を深めることに寄与する表現方法を検討いただきたい。

2. 採点結果

評価ランク：A